件名	第5回松崎地区駅前活性化協議会
日時	2019年1月28日(月) 19:00~20:30
場所	総合相談センターどれみ
出席者 (敬称略)	協議会委員:谷口、本庄、川崎、速水、北村、藤原、上治、立木、川本(代理;加藤) 湯梨浜町役場:仙賀副町長、遠藤室長、嶋田 まちづくり株式会社:川田 (委任状)清水、澤 (欠席)河本、遠藤、高野、岸田
決定事項 (合意事項)	
次回までの 調整事項	
配布資料	第5回松崎地区駅前活性化協議会レジュメ、松崎駅横施設活用策(案)紹介、松崎地区駅前活性化協議会これまでの取組みについて(案)、足湯の設置について、湯梨浜こども食堂企画(案)他

1. 開会

2. 会長あいさつ

(会長)この協議会の方は先般お話していた通り、あと1回で休止、3月の会を持って一旦休止ということで、地域のみなさんに活動報告という形で情報提供していきたいと考えております。それでは今日の最初活動の内容につきましてはみなさんと協議しまして、地域に反映できるような形の活動報告にしていきたいという風に思っております。そういう事で今日はもう一点、駅横の活用、それからもう一点足湯について、この3点を協議しまして、第5回の協議会としていきたいと思っております。まあ、貴重な時間ですし、冬という事で寒い中1時間半程度で閉めていきたいと考えておりますので、ご協力の方よろしくお願ひします。今日初めてですけど委員交代されてまして出ておられますので、一言ご挨拶をよろしくお願ひします。

(委員)初めまして。今日代理で初めてですが出させていただきます。また、上には報告なりをしたいと思ひますが、今日はよろしくお願ひします。

(会長)よろしくお願ひします。今日は役場の方から副町長に来ていただけてますけど、一言お願ひいたします。

(副町長)今年初めて参加させていただいて、実はこれ28年から、何回になりますかね。28年が6回、29年が10回という事で、長く地域活性化に対して皆さんに協力をいただきまして、ゆるりん館とどれみという二つの施設ができました。今回第5回ということで先ほど会長が言われたように、これを以って一旦休会したいという事でございます。この3年間皆さんにお世話になりながら、この松崎地域の活性化に向けてご尽力をいただき深く感謝を申し上げたいと思っております。ただ、実際にはこれからが本番ではないだろうかと思ひ自分では気が致しております。やはりこれだけの施設を地域の方が、これからどういう風に利用していくのか、これは協議会ではなく、地域の方々が、それぞれに寄っていただけて愛着を持っていただけて利用していただければ、一番いいのかなと思っておりますので、この会が今年をもって休憩するという事なんですけど、これから皆さんが一緒になって、愛着の持てるような、それぞれ委員の方々も周りの方たちにその辺を話していただければ、嬉しいなという風に思っております。ありがとうございます、お世話になります。

(会長)ありがとうございます。では、早速お手元のレジュメに沿って、(1)駅横施設の活用、(2)は協議会の活動報告につきまして、成果につきました皆さんと一緒に、いろいろとゆるりん館それからい

ろんな事業をやってまいりました、その成果をみなさんと一緒に文章に沿って、確認していきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。3点目は、足湯の状況という事になっております。

3. 議事

(1) 駅横施設の活用について

(会長) では、駅横施設の活用につきまして。

駅横の施設といいますのは、駅前の観光案内所の事です。いろいろと役場と相談してまいりましたけど、いい策がないという事から先般の協議会の中でも防災会で使ったらどうかという意見もあったものですから、急きょお手元の資料にもありますように、自主防災会の方で検討しまして、12月19日に、自主防災会の立場から、駅横の旧観光案内所の活用につきまして、役場担当課にご提案しました資料が今日のお手元の資料です。提案の概要を簡単にご説明し、現在の担当課からの回答につきましては、副会長のほうから状況についてお話ししたいと思ひます。

では最初に、提案した概要につきまして、まず、1番目、駅前の観光案内所の現状ですが、写真等がありますけど、パンフレットは無しで、観光案内所としての機能がないという事と、同案内所が常時開放されているという事から、防犯面の課題があるという現状です。そこで2番目、活用策としましては、松崎駅の観光案内所の検討状況としては、同案内所を協議会でも検討しましたが、現時点ではいい活用策がなかったということです。そういう面から、特に外壁面につきましては、どれみの案内とかその辺で使うという事で検討している。そこで、防災会の方で防災強化の現状としまして、昨年4月から松崎駅前のだよやを松崎の交流拠点として活用してきた、ということです。4月から交流拠点として活用してきましたが、ちょうど昨年9月30日に台風24号の影響で東郷池が氾濫しまして、松崎地区は旭区の駅前中心と湖畔公園の前のあたり、そして3区の付近では床下浸水の現状がありました。そうした時、防災会が平成27年に誕生してござりまして、初めて、9月30日午後8時頃、一斉放送で浸水しそうだという事で、みなさんに集合してくれという放送をし、初出動したわけなんです。その時に集まったのが20名で、20名がだよや、防災拠点に集まって、作った土嚢を配していったという事で、防災拠点が役立ったという事です。という事で、防災拠点のありがたさ、組織のありがたさが成果として出た訳なんです。写真の2枚目ですね、お手元の防災だよやの中ほど右下に土嚢があります。ちょっと分かりづらいですけど、これが土嚢の地上部、ちょうどこちらは旭区のところなんです、土嚢を約30個積みまして、浸水防止を図っている。それから自分たち防災会のメンバーでしていただいたという状況の写真なんです。したがって、もちろん土嚢があったこと、更には、場所があったという事で展開しましたが、結果的に現在拠点として使用しているだよやは、塾として活用されています。そうした中では防災拠点としての機能が難しいという事から、別の場所をさがしていたという事です。そうしたらちょうど、駅横を活用したらどうかという事で、専用活用ができないかという事を、役場担当課の方に提案したという事です。やはり松崎地区の安心安全を守るためには、松崎の駅付近に防災の拠点が必要だという事から提案させていただいたという事です。そういう事で月に2回程度、駅横の所をですね、使わせてもらったらどうかと提案しまして、最終的には松崎地区はどうしても特性的に浸水しやすいような場所ということから、防災強化として拠点づくりを提案させていただきました。ただ、あそこは、JRの借り物ということもありますので、その結果につきましては先週口頭で、役場から回答をいただいておりますので、その状況につきましては副会長の方からご報告いただきたいと思ひます。

(副会長) 今会長がおっしゃった通り、2月17日の自主防災会の総会までに回答をいただきたいという事で役場担当課の方にお願ひした訳なんです。で、その結果をですね、ニュアンスがちょっと違ってるかもしれませんが、私として受けたのは、基本的には今言われましたJRから借りたものだと、それから、あの建物、観光案内所という事で、他にも関わってますので、担当課でどうのという返事

がしにくいところがあったようですが、活用することに関してはいいんじゃないかと、というような答えをいただいております。ただ、あそこが施錠は出来ない、それから今現在電気は全く来てないというような状況でありまして、施錠が出来ないという所がひとつ頭の痛いところで、ちょっとでも、防災資機材をおきたいとか、集まった時にヘルメットのような備品を置きたいという気持ちがあったんですけど、施錠ができないというのはちょっとまずいなあという事で、あの観光案内所にロッカーを持ち込んで、要らないようなロッカーでもいいんです、鍵はかからないといけません、そういうものを置いて、防災拠点にしたらどうだろうという風に思っているところです。返事的にはかなり妥協していただいた事じゃなかったかと感じております。担当課はそうでなかったかもしれませんが、私のほうは良いように解釈しておりますので、なんとか活用したいという気持ちでございます。ただ、もし活用するとすれば、未曾有の災害対応に担当課と書面でなんか交わしておかないと後でなんかトラブルになるかなあという風には思っております。一番端的な事でも、電気代の事でもですね、使用者として払っていただきたいという要望もありましたし、それは当然の事だと思いますので、使うとなれば、防災会が払うという事になるかなと思います。あと、真夏とか寒い時に皆で集まってどうしたらいいだろうと相談する時に冷暖房がないのも大変だという気はしていますが、電気代がかさむものですから、ちょっと考えて使用料がかからん事を今模索中です。という状況で、自主防災会としては、いい方向に担当課が考えていただいているんじゃないかと思っております。以上です。

(会長)防災会の方は、専用利用という形ですが、いわゆる観光機能、PR機能をですね、失わない範囲でロッカー等を置いて、月2回程度、会議をしながら利用させていただく方向で今調整させていただいております。そういう事で一つの有効活用策という事でご報告申し上げましたけど、みなさんの方でなにかご意見等ありますか。あと外壁は活用するようにするんですよね。どれみのPRとか？看板とかなんとか。

(事務局)看板までは置く予定はないんですけど、入口のところに観光パンフはどれみの方に置いてありますので、どうぞ、ということで地図を付けて、貼るようにしています。

(会長)これからは、月2回ほど防災会が入りますので、簡単なチラシなど我々が管理できると思います。という事で多少役場とウィンウィンの関係でという事があったものですから、最終文書交わしてませんが、そういう形で・・・。

(事務局)随分前に、あそこの活用をどうすればいいかという事で、言われて掃除するからというような話で、実は担当課の方にも話をしたことがあるんですけど、要は言われるようにまず電気が通ってないという事、施錠はしたらいけないというのがよく分からないんですけど、夜は閉められない事情があるんでしょう、きっと。無人だっていうのが一番のネックで、委員さんがいろんなものをあそこに飾って、あそこに何かアピールできるものがあれば良いのになあっていう思いもあったんですけど、なかなか手当が出来てない。もともとあそこが作られたのは、東郷時代の観光協会か温泉組合か何かなんでしょうかね。

(委員)そうです、あそこに旅館組合の案内所が・・・。

(事務局)ですよ。何かあって、そこから人が来られた時に案内できるようにあったんでしょうけど、時代の流れというか、旅館が少なくなってきたという事から、なかなか使い道が出来ていない。僕は、本来なら防災機能とは別に、防災機能は大事なものですので、それはそれとして、設備を整えながら観光案内所としてのメリットが、あれば良いんでしょうけども、なかなか私もあいさつ運動などで立っているときに見ていますが、学生たちが中に入るといのはあまり見受けられない。駅舎の待合室の方にいることが多いので、そうになっていくとほんと利用される方が少ないのかなあ、と実は見ております。壊すのは簡単なんですけど、壊さずに何かに利用出来れば、今JRのお金を取るとは言っていないわけですから、その辺の利用を一緒になって考えればいいのかあ。

(会長)そうですね。

(委員)ただね、さっき、どれみの方にパンフとか置きますって言われても、駅降りられたお客さん、まずはあそこに案内所と書いてあるので、まずあそこに入られる訳ですよ。パンフ持ってきてもらって、パンフ置くと、結構なくなりますし、今は持ってきてないから何にもないですけどね。あそこにテーブルとイスがあった時には、学生たちもあそこで勉強したり、時間待ちしたりしておられたので、イスがなんでなくなったか聞いたら、公園の方に持っていっちゃったので、あれば入ると思うんですよ。

(会長)今おっしゃったわけですけどね、今度から防災会が活用したら、テーブルを置いたり、椅子置いたり、パンフレット、月に2回ありますから、そんなことの管理が多少できるかなあとと思います。

(委員)「パンフはこちら」っていうだけではなくて、やっぱりあっちにも置いて欲しいと思います。降りられたお客さん必ず行かれますよ。

(会長)役場の担当課長も観光機能だけは残しておきたいという強いニーズがあったものですから、まあそういうのもお知恵をいただきながら、協議していくという事で、特にまあ活用策の一つとしてご承知いただければと思っていますので、よろしいでしょうか。みなさんご意見ございませんでしょうか。では、次に進ませてもらってもよろしいですか。

(2) 協議会活動報告(案)について

(会長)では次にですね、松崎地区駅前活性化協議会という事で、先ほどもありましたように、2年前の夏10月に最終的には発足したのですが、この協議会につきましては、区長会の方に相談し結成していったという経緯があります。そうした面からも紹介の方、地域の住民の方に5年間の任期ですけど、休止にあたっては、こういう取り組みをしてきたという概要を報告し、今後はどうするんだということをはっきり示していきたいと考えています。それで、今回事務局に整理していただきまして、こういう観点でこの活動報告書は住民にお伝えするという事の資料の基に皆さんの方に意見をいただきながら整理していききたいと、今日ある程度整理しまして、最終的には3月に最終確認をしてまとめていききたいという方向にしておりますので、事務局よろしいでしょうか、そういう方向で。

(事務局)はい。

(会長)では早速ですが、内容につきまして、説明をお願いします。

(事務局)さっき会長さんからもお話がありましたように、区長会等に報告していく文書という事で作成してみました。A3両面で作成しております。松崎地区駅前活性化協議会これまでの取り組みについて、今はまだみなさんにこれからご覧いただくので案という事でつけさせていただいております。まず1番に協議会のできた経過ですとか目的、それから概要という事で委員さんの名簿など付けさせていただいております。2番に協議会の取り組み状況という事で、これまで28年度から30年度まで、協議をしてきた回数ですとか、という事を書いております。それから協議内容についてですが、協議内容は右側の方に大きく書いてありますが、平成28年度から29年度にかけて、旧Aコープの活用方策について検討を進めたほか、地域の現状や資源を洗い出し協議のテーマをコミュニティ、駅周辺の活用についてイベント情報発信、足湯としてそれぞれ分科会に分かれて協議を進めました。平成30年度はそれまでの協議の結果などを検討しながら、事業を実証してきたという状況です。で右側の方に1番から5番まで、旧Aコープの活用方策について、助け合いやコミュニティづくり、イベント・情報発信、駅周辺の活用について、足湯についてという事でまとめさせていただいております。ご覧いただいたらと思います。それから今後の方向性についてという事で左の一番下に描いております。約2年間、旧Aコープの活用方策を含めた地域課題等について協議を進めてきましたが、旧Aコープが改修されて多世代交流センターゆりりん館がオープンし、その他の課題についてもある一定の成果が出たと思われるため、松崎地区駅前活性化協議会は一旦その活動を休止しよ

うと思います。ただ、まだ任期が残っているため、協議が必要な事項が出てきた場合には、現任メンバーで再度協議を進めるものとし、という事で、この方向性のところが一番区長会などでお話をしないといけない部分かなあとと思います。で、裏面については今年度、進めてきた事業の取り組みの報告ですとか、あとはゆるりん館のチラシ、軽トラ市のチラシなどを載せております。みなさんご覧いただいているような意見をいただきたいと思いますので、よろしくお願ひします。簡単ですが以上です。

(会長)ありがとうございます。まず最初にですね、この文章をいつのタイミングで出すかによって文章の表現がかなり変わってくるんですよ。それでいつの時点がいいかどうかみなさんのご意見を、3月ですね、今のところ会によりますけど、3月の上旬頃には最終の会をして、最終的に事業としてまとめた格好にして、そのあと、区長会の方に報告して構想では地域の住民の方に周知をどうしようかという相談になると思うんですが、そういうシナリオでよろしいかどうかみなさんのご意見をいただきたいと思ってます。

(事務局)いいですか。実質的に活動は休止になるんですけど、ただ今後必要都度に合わせて開催していくっていう事はこの前から確認してるところなんですが、それをあまり強く区長会にPRする必要があるのかなあっていうか、やはりこれからが本番だっていう事はみなさんも多分感じておられて、ただ、この協議会の限界っていうのも感じておられて、ですからその辺りは含みを持たせながら、もう少し任期の期間は続けていってほしいなっていう気はあります。

(会長)ただ、先般も言ったように、ゆるりん館オープンという一旦区切りを迎えたという事で、基本的には休止という考え方でこの前したんですが、そうした場合に協議会どうしとるんかという話が出た場合に、やはり地域の人に言っとかないといけないという事がありますから、そういう意味で整理するという考え方でしたんです、もちろん成果も。

(事務局)この報告、私は参加してないので議事録で見えていたのですが、担当の方から、こういう会がありました、という事で中身を見た時に、もともとこの協議会自体を町の方からお願いしますという事で各区長さんを通じて、集まっていたかあるいは公募によって集まっていたかだと思っております。おっしゃるように協議会が実行部隊ではなくて、本来ここで協議されて、次に何をやるかっていうのは別の話かなあと。ここの協議会の中で、協議から計画から実施まで、すべてを担っていただくのは荷が重たいし、私の方もそこまで町としては、実は考えていなくて、松崎も地域の活性化は活性化で別にしておられると思っています。ただ、そこの中で町としてどういう形で進めるのがいいのかという事で、この協議会が出来たものだと思いますので、会長がおっしゃるように一番はじめの段階を、目的はある程度達成出来たのかなと。ただ、きっとそうは言っても、ここ、どれみや隣のゆるりん館の運営について、もう少し例えば松崎地域全体の中でアピールしていくあるいは啓蒙、活用していくという必要がある時は町の方からまた会長にお願いして、どうすればいいのかというご相談をかければいいのかと思って、私もいいんじゃないかなと話をしたところです。

(会長)みなさんの方はいかがですか。重要なところですよ。

(委員)今の話と同調しております。協議会のメンバーに決定権はないわけですから、案としてここはどうだろうかという提案は出来てもそれをやるとかやらないとかは、それは町の方で決めていただく問題だと思っておりますので、ひとつの区切りという意味ではいいんじゃないかなと思っております。

(会長)みなさんいかがですか。

(委員)前回来ていなかったもので、議事録ちょっと見ただけで、休止というような事で。まだ任期が2年あるし、あんまり休止を前面に出さず、とりあえず報告書としてはしておいたほうがよくて。2年か3年で、これだけの事をやって、こういう風な方向性を出しましたと、今後についていわゆる適

宜開くでしょ。休止休止ってそんなに強調することもないのかなという感じがしないわけでもない。(会長)文章の話ですけど、定例的な活動は休止って言ってるわけで、適時開催するという議論になったんですが。

(委員)アンダーラインまで引いて休止っていうのを別に全面に出さなくても、適時開催にでもして、今後の方向性として何かあったらまた集まりますという方が。なんだいな終わるだかいなってなっちゃうから。

(会長)では、その辺りの文章を見直しして。その他どうですか。

(委員)前回もそうだったけど、とにかく軽トラ市やげんき祭り、ああいう時は必ず集まってそれ以外は何か特別な事が起きたら、集まるという事で、それでいいと思います。ただ、休止っていう言葉はなんか、もうちょっと、と思います。以上です。

(会長)わかりました。その他いかがですか。

(委員)同じです。

(委員)いいでないですか。

(委員)話の内容が把握できとらんところがあるんですけど、まあ、先回いただいた議事録は読みましたけど、やはり、任期が残っているという事でしたら、そういう方向を前に出した方がいいとは思いますが。

(会長)ありがとうございます。では、その方向で、そういう表現にしようと思いますので、よろしくお願いします。あと、区長会への報告のタイミングの方でご意見を。3月でいったん整理しまして、その後という事で、4月とかそんなタイミングで区長会の方に報告してその結果、住民の方にチラシを出してくれっていう話になれば、そのように…。そんなタイミングで行きたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(委員)これは町報等にも？

(会長)多分それはないと思います。ですから、多分区長会に報告してその後住民さんにチラシを配布という話になると思います。多分ですよ、想定ですけど。多分区長会の方は自分が処理するとは言わないと思いますので。区長会には直に報告して、文書で区民のみなさま松崎・中興寺地区のみなさまにご報告という形になると思いますが。

(事務局)2月に区長会があるんですが、区長会が終わった後で例えば各区で何か説明、松崎はありますか？

(会長)ないですね。区長会の報告は、役員の方にはあります。班長さんとかもちろん。松崎は全員ではなくて、各区の区長さんが班長さんと役員さんの方にこういう話があったと…。

(事務局)じゃあ、タイミング的には別にその3月でも4月でも良いいって事ですか。

(会長)4月早々にも区長会ありますよね。

(委員)あります。

(会長)先にご説明して、内容的には…。現にあの地域の方が知っとられる内容ばかりです。

(事務局)まあ、そういう機会を通じて報告されればいいんじゃないですかね。ただ、これ言われるように終わった会ではないので、実際これから利用していただくとか、いろんな地域の活性化だとか、やはり松崎地域全体の中で考えていく重要な事ですので、それはそれでやっていただければいいんじゃないかと。

(会長)分かりました。文章上何か気に入らないような事があれば、特に1枚目ですね、また、再度見直して3月にですね、みなさんと協力して…。

(委員)これをだいたい折り込み、配りなるですか？こういうものを？

(事務局)区長会の時に説明して。

(会長)説明して、聞いた時に配れって話になるでしょうね。カラーがいいですよ。

(事務局)はい。

(委員)カラーだし、ちょっと高齢者の方が見たい場合字が小さいから、もうちょっと見やすく。

(会長)全体のイメージとしてカラーと大きな字。

(委員)あと、もう少し砕けた感じ。議員さんにはこれでもいいかもしれないけど、町民に対してはね。

(会長)カラーともう少し見やすい感じ。

(事務局)はい、もうちょっと見直してみます。

(会長)これについて意見があれば、文章も含めて再度みなさんの方でチェックして事務局にいつ頃までにしましょうか。

(事務局)そうですね、2月の中旬位。

(会長)2月の中旬位までに、みなさんの方で、再度事務局にメッセージしてもらったら、意見を、ここの文章がおかしい、ここを直した方がいいとか、という事でよろしく。これについては、再度欠席の方もいらっしゃるの、出して、2月中旬位までという事で、で、一点今後の方向性の中には書いてませんが、特に竹灯籠につきましては継続という話がありますので、現在ちょっと助成、いわゆる資金を獲得出来るかどうか最終確認中でして、なんとかそれを取って取ったあかつきには協議会として事業展開していきたい、という風に思っています。

(委員)金融機関の？

(速水会長)最初相談したところは10分の10じゃないんですよ、10分の10に近いところの資金が欲しい物ですから、そういう所を目指していきたいと。なんとか資金を調達して、取ったあかつきにはまたご提案していこうと。よろしくお願いします。最終確認は、竹灯籠事業だけは、平成31年度も事業展開するという事を確認したいと思います。よろしいでしょうか。今の竹灯籠の関係で。継続事業として、評判が良かったもので、住民の参加者が非常に大きいものですから竹灯籠は。点灯活動を、200個あれば200人参加したような状況でして、少し増やして、300か400という事で、現に竹灯籠はですね、節分とか大晦日も点灯されるとか、節分の時も点灯されるということで、ご紹介いただければ。

(委員)点けたくらいの事で。松崎神社の関係はですね、竹灯籠のいない部分、ぶすっと切られてしまって、底が無いやつです。それを全部集めて、考えてみればあの方が蝋燭が点けやすいです。雨や雪が降るとまずい訳ですけど、節分も5時か6時くらいからずーっと階段の上まで、竹灯籠を並べる予定にしています。今、風流な、雰囲気的には非常にいい感じで、年末大晦日の時もやったんですけど、あの時は途中までしかやってませんが、来られる方が感じがいいなあと評判が良かったので、また、2月3日やろうと思いますので、よろしくお願いします。

(会長)これは、予算が取れたら子ども工作教室で参加者が作って行って増やしながらか、という感じです。

(委員)和倉温泉に行ったら、寺だったかな、土曜日なんか竹灯籠で、階段でね。

(事務局)節分の時にやられるっていうのは、何か今まで慣例かなにかあったんですか。

(委員)いや、別にないです、ただ、祭りの時だけに使うのはもったいないなあっていう気がして、大晦日と節分に使ったらどうだろうと。

(委員)水郷祭なんかもあるしね。

(委員)水郷祭はこっこの神社にはあんまりこんからね、神社の方には水郷祭の客はあんまりこん。

(会長)そういう事ですね、最初は竹を切っていただくところからスタートしました、という事で新聞にも載りました。地域の文化、新しい文化にしていきたいと思いますので、ご協力の方をお願いします。協議会の関係の活動の方向性は出ましたので、修正・意見等あったところは、一人1件くらい、ここは直した方がいいよということで、事務局にメッセージをお願いします。

(事務局)どれみにもいいんじゃないの。

(会長)そうですね。では、こちらの方に、という事でよろしくお願いします。一人1件目標でよろしく

お願いします。

(3) 足湯について

(会長)では、次に3番目の足湯について、現状につきまして、事務局お願いできますか。

(事務局)前回足湯の方で話がついて向かわせてもらおうと、話をさせていただいて、その後、会長、副会長、足湯部会の方と一緒に位置決めであるとか、内容をちょっと検討させていただいたところです。その中で図面を付けておりますが、位置がゆるりん館のひさしの部分で、位置的にはイメージ的にこういう場所だと。

(会長)分かりますかねえ、今の場所。

(事務局)分かりますかねえ、柱が建っているんで、ポーチの下に、その柱のSPANっていうイメージですね。だいたいメーター数で言いますと3m程度になりまして、人数的には8人から10人くらいが、合向かいで足湯が出来るというイメージのものになってます。みなさんにいろんな意見をいただいた中で、できない部分、できる部分が出てきているところをご了解いただきたいと思えますし、ちょっとした事なら、また検討させていただいて、対応できる部分もあるかなあというところは持っております。実際スケジュール的な事を言わせてもらいますと、2月1日によく入札という運びになりまして、終了は3月の下旬頃、完成というような工期になるかと思えます。内容的には、ちょっと見にくいんですけど、要するに湯についてはタイマー等つけておりますので、夜にはストップで朝から入るという形になるかと思えます。足湯の上には例えば多目的にも使えるような形の中で、例えば、使わない時には、一体型のテーブル的なものを置いて、そこが何か利用できる形という事もちょっと考えているところです。いろいろと条件もある中で、ようやくこういう風に向かう事ができたというところで、よろしくお願ひしたいと思えます。

(委員)風除け的なものというか。

(事務局)それも設計事務所の方に出来ないかという事を頼んだところですが、単純に取り外しができるようなイメージをしていたのが、それはちょっと構造上無理だと。それだったら、ばちっと壁みたいな風除けを付けるような事になれば、逆に利用が制限されるということになり、難しいという事がありまして、今のところは、抜いています。

(委員)目隠し的な事はやった方が良くと思うんですよ。

(委員)利用が制限とはどういう事ですか。

(事務局)要するに他にいろいろ使いたって事になると、壁じゃないですけど、塞いでしまうという形になってしまうので、それはちょっとどうかなあという。

(事務局)基礎が出来てきて、前の方まで影響してくる、でそこに建てちゃうわけですから。

(委員)柱を利用して・・・。

(事務局)いやそれは無理でしょ。

(会長)スペースがないって事？

(事務局)要するにがちとしたものでないと、いけないということ。

(事務局)一回それで利用を見ていただかないと、元々ここに来るお客様はいろいろおられるわけですが、どのくらい方の利用があつて、どうかという事は、一回精査する必要があるのかなと。

(事務局)例えば衝立程度であれば、状況によって出して、風がきつい時には無理かもしれませんが、そういった衝立程度の分を準備させていただいて、っていう事は可能だと思いますが。

(事務局)ここ、店に近いじゃないですか。食堂のところに。ですから、衝立で塞いじゃって、前の敷地も見えなくするといかがなものかなっていう気もありますから。一回見ていただいて、その後でいかなと。

(委員)衝立して、やっぱりした方がいい、となったらまたっていうことができるんですか。

- (事務局)してもいい時にどのくらいのもので出来るのかっていう事は、また検討させてください。今の段階では、しちゃったわ、あとはって言われても…。
- (会長)そうですね、柔軟に対応してね。よろしいですか。
- (事務局)それともう一点言われていたのが、幅ですね。幅も確認したんですけど、80センチになると、その専門の業者から言ったら、逆に広すぎてちょっと危ないじゃないかっていう事もありますし、製品的には特注になるっていうことを言われまして、通常足湯の合向かいの場合は、60センチだそうで、それは合向かい、まっすぐ向くんじゃなくて、通常はずらす形でという事だそうです。
- (委員)座ってみてどうかなと。
- (事務局)要するに真正面でやると違和感があると思います。ずらすって事になるとそういう使い方っていう事に…。
- (会長)はわい温泉にあるのは？あれも60センチくらいしかない？
- (委員)あれは一方的なものだから、お互いに座ってじゃない、道に向かってっていうやつだから。
- (会長)置いてありますよね。
- (事務局)置いてあります。何か所かありますからねえ、はわい温泉には。
- (事務局)そういう事でこちらも研究してもらったんですが、そういう回答が戻ってきました。まあ、ちょっとその辺でご了解いただきたいなあと。
- (会長)分かりました。先程の件は柔軟にという事で、今の件はずらしてという事で、よろしいでしょうか、3月末には足湯がオープンするという形になりますので、ありがとうございます。予算どりが結構大変でしたけど、国の予算ですから。ありがとうございます。
- (事務局)これの費用的な面とかメンテナンス的な面っていうのはどのように運営は考えておられるですか。
- (事務局)以前にもありましたように、まちづくり会社で管理運営をお願いしとったところですが、費用的なところが発生するのは、温泉組合からの配湯ですね、配湯の料金、その分については今上乗せして要望、予算要求をさせていただいているところです。
- (会長)維持管理はまちづくり会社。
- (事務局)一緒の、セットの備付施設という事で。
- (会長)予算化したら、よろしくをお願いします。
- (事務局)配湯料はこれから上乗せされるけども、掃除なり維持管理っていうのは
- (事務局)今の分で。
- (事務局)管理の中でしなさいっていう事ですよ。もしその辺りが、地域の人と一緒に掃除とか管理とか、いろんな事ができればと思いますが。
- (委員)今これをする事によって、賑わいが出ると売り上げに貢献する訳で、そういった見方でやっぱり指定管理者が積極的にするべきじゃないかと。
- (事務局)もちろん。いいですかね、お任せで。地域の方でもうちょっと携わって、この辺一緒に運営していきたいなあとか。
- (会長)それは、会社の方で声掛けをしていただければ。運営スタッフと一緒にだと思うので。
- (事務局)分かりました。じゃあちょっとやってみて、不具合がありましたら…。
- (会長)何かありますか。特に協議会が関る余地はないと思うんですが。
- (委員)だいたい、設置しないといけないんじゃないかっていうのは、集客を図る一つのツールとして、足湯があるとお客さんが来て、これが売り上げに繋がるんじゃないかというのがあって、まあ、話をさせていただいた。
- (事務局)観光客でも来ていただいたら一番いいんでしょうけどね、まず最初に地域の人が常時いたら、他にみんなが来るかもしれませんから。

(委員)協議会は関る？

(会長)いいや、関らない。よろしいですか。ありがとうございました。

(4) その他

(会長)続きまして、その他として、企画がありますから、事務局の方から。

(事務局)今まちづくり会社の方で、地域の方と一緒に企画を進めておられる事が二つありますので、まず、湯梨浜こども食堂とそれからゆるりん市という事で、説明を。

(事務局)せっかく良い施設を作っていたら、湯梨浜町の方にまだこども食堂っていうのがないという事で、仮称みんなの食堂という事なんですけど、どちらかというところこども食堂っていうと貧困の子どもさんの栄養なり食事をとれるような施設っていう感じが強いという事で、こどもさんからお年寄りまで、どなたでも集まって、わいわいがやがやしていただけるような、そういう居場所づくりを作りたいなという目的で3月の28日に第一回、みんなの食堂というような事を計画しております。だいたい月1回くらいを目標にして、やっていきたいと思っております。中の方に書いておりますけど、時間的には夕方4時から8時くらいで、ご飯を食べていただいて、その後子どもさんは勉強していただいたりとか、ちょっとしたゲームとか、イベントもしていきたいと思っております。それで、値段の方はこどもさんが100円、敢えてこどもという事で、何歳から何歳と設定せずに自主的にこどもさん100円で、高校生以上400円以上という事で、お金を入れて頂こうと思っております。それで、他のところのこども食堂はかなり品数が、まあ20とか凝ったようなところもあるんですけど、あんまり無理をせずカレーとかから揚げ程度でスタートして、あとはボランティアの人に家から1品ずつでも作って持ってきていただける方は出来たらどうかなという事で、50人程度想定しております。その内人数が増えれば、会場に入れる範囲で運営していきたいと思っております。運営体制ですが、今指定管理者と地域の方を中心に、あとは地域のボランティアの方を中心に運営スタッフを構成して、これから大体的にボランティアの方を呼び掛けしようと思っております。場所代・光熱費等の方は指定管理者で負担をしますけど、その他の食材関係は、すべてボランティアの方の提供で賄っていきたくて考えております。必要な備品という事で、ちょうど新しい給食センターが、オープンしまして、旧給食センターが、今使っていない食器があるということで、それを使わせていただけるように、役場の方に申請書類を提出したところでもあります。それと食材関係ですね、町内のスーパーに余った野菜とか惣菜ですね、そういった物を提供していただけるように働きかけをしていきたいと思っております。それからスタート時点でいくらかの運転資金が必要になりますので、1,000円程度の出資金ではないですけど、寄付をあつめながら、それから継続的に町内に約30か所の募金箱を設置して、その浄財をいただく中で、あくまでも独立採算で回していきたいなと思っております。という事で次回2月7日に次の運営委員会を開いて具体的な今後の日程等を協議するようにしております。また、松崎の区長会さんにも中身が決まり次第おろして行って、より多くの人の交流の場にしていきたいと思っておりますので、ご協力よろしくお願い致します。それから、次に、みんなをつなぐゆるりん市という事で、ゆるりん館が交流センターということで、みなさん松崎含め、東郷地域の方を中心に住民の方をつないでいくという主旨で、ゆるりん市、施設の名前を思えてほしい気持ちもありますし、ちょうど松崎の軽トラ市、げんきまつりというようないろんな経験をさせていただく中で、月に1回程度定期的開催していただいて、施設に足を運んでいただいて、皆さんに知っていただきたいという事で開催していく予定にしております。第1回を2月10日に予定しております。店内狭いんですけども、かなり多くの人に参加していただく予定になっております。活動していく中で、1区の方も今回は都合が悪くて参加できないという事でしたけど、なるべく地元の方に定期的に関って交流が進んでいけばという風に計画をしております。以上です。

(会長)はい、ありがとうございました。ご意見は？

- (委員)子ども食堂の値段設定、子ども100円、大人400円、有料でって事? どういう事?
- (事務局)有料ですね。乳児の方はもちろん無料です。ですからイメージとしては、小学生、中学生。
- (委員)原価的には出るんじゃないか?
- (事務局)原価は出ます、まあ出ますが、やはりほとんどの子ども食堂がそういう寄付をいただきながら、または農家の方から野菜を提供していただいたりとか、一番魚、肉ってところが、集まりにくくて、そこはどうしても寄付の中から買わないといけないらしいんですが、野菜はほぼほぼ寄付で集まると聞いておりますので、とりあえず、なるべくハードルを低くして、ちょっとこれでスタートしてみようかと思っておりますが、あとは運営しながら都度、改善していきたいと思っております。
- (会長)ゆるりん市の関係で二点、出店要領というのは、そもそもこういう組織であれば、要ると思うんですが、そういう要領を作られて、みなさんに要請されてる事かなあと思って、そこを確認したい。例えば、費用面とかそういうところを明らかにして事業展開、その辺はいかがでしょうか?
- (事務局)出店要領の方は、軽トラ市さんとかげんきまつりさんみたいに細かいところまではまだ、詰めきれてなくて、主に三八市とかに参加されてるようなところに、出店料1,000円をいただいて、運用しながらその辺りの問題点を出しながら改善していきたいなあという事で、1回目はあまり細かいところまでは、ちょっと作れていない。
- (会長)やはり組織として、はっきり価格の面とかいつまでに報告とか、やはり会社だったらその辺りは必要だと思います。きっちり明確にして、早期に明らかにすべきだということと、もう一点ですね、子ども食堂の方で保健所って書いてあるんですけど、保健所確認って、ゆるりん市で保健所対応はどうなっているか。
- (事務局)保健所対応の方はですね、指定管理者の自主事業であれば、保健所の方は了解はとっております。
- (会長)全部自主事業という事ですか?
- (事務局)ゆるりん市の方も、保健所の方に確認して、自主事業という事であれば・・・。
- (会長)ですかね、そこら辺のところが気になったんですけど。フリーマーケットもすべて自主事業?
- (事務局)はい、調理が必要なものもちろん、保健所の方には確認をとりました。そしたら、やはり自主事業という事であれば、
- (会長)全部が自主事業であるっていう事なんですかね、その所が気になるところです。
- (事務局)というの?
- (会長)例えば、どっかで作って、たい焼きもそう、自主事業って言ったら、自主事業かなあって思って、そのことを聞きたい。
- (事務局)まちづくり会社の自主事業っていう事ですね。
- (事務局)だから、まちづくり会社がゆるりん館の中で、全部を含めて申請するという事ですね。
- (事務局)申請要らない。
- (事務局)申請が要らないという事ですね。
- (会長)それは何ですかね?
- (事務局)まちづくり会社が衛生管理者を置いて、運用管理してるんで。だから、まちづくり会社がそこを管理運営していけば、問題はないという風に保健所は・・・。
- (委員)営業許可は取ってるという事ですね。
- (会長)あその調理場の中で全部作ればいいですよ、それ以外のところでは、
- (事務局)そこは確認してますので、調理場以外のところですね、その交流スペース、イベントスペースの所も、自主事業であれば、問題ないっていう事で、言われてるんですけど。
- (事務局)たこ焼きやたいやきも中ですか? 全部?
- (事務局)たいやき等、火の出るものは、庇というかね、そちらですべきだと思っておりますが。

(委員)たいやきやたこ焼きは、聞けばかどっこ商店という事。

(事務局)今回はですね。

(委員)だから、露天商持ってますからね、別に問題ないと思いますけど。

(会長)持ってるどころかなあとって、それは一番・・・。

(事務局)私もこども食堂の方でひとつ気になったんですけど、まあそれは中でね・・・。

(会長)やはりきちんとした対応をされるべきだなあとって、一緒に参加するもんですから。要領等含めて、お願いします。

(事務局)そこは、今後詰めてお出ししたいと思います。

(会長)今、2点こども食堂とゆるりん市がありましたけど、何かご意見ございませんでしょうか。

(委員)ひとつ、ゆるりん館がオープンして、食堂、レストランっていうんですか、あるんですけど、人の口はいろいろありましてですね、良いとか、悪いとか聞いてますけど、まあ良くなっていたかんといかんですけど、一番初めにこの協議会が出来た頃に、鹿野に行きましたよね、で、食事をしましたが、1,000円くらいしましたかね、なんかああいったところはものすごく特徴があるのですが、ああいうものを今後やられる予定はない？

(事務局)鹿野は特に観光客の方が多っていう事で、手の込んだ高級なものを出しておられるんですけど、観光客の方が増えてくれば、そういった単価設定の物も可能かとは思いますが、今現在は地域のお年寄りが多いという事で、それから、ビジネスの方も県道から奥まっているという事で、やはり普通の単価設定、ランチで行くと、7,800円までのところを650円ぐらいで設定せざるを得ないという実情がありまして、それと食堂を立ち上げたばかりで、スタッフもまだ、経験者はおるんですけど、慣れてない部分がありますので、今のところは簡単なランチ日替わりランチ的なもので済ませさせていただいておりますけど、今後やっぱり・・・。

(委員)今すぐという訳じゃないですけど、徐々にそういうものを手掛けていって、やっぱり特徴のあるご飯が食べれるとかその方が必要じゃないかなあと。

(事務局)そうですね、それと一番大きな問題はゆるりん館のマルシェ部分であったり、食堂部分であったりとかもちろん交流スペースも然りなんですけど、どのように地域の方に喜んでいただけるような改善を加えていくかという事になると思います。少しずつは来ていただいて、新しい方も増えてるんですけど、聞くとまだ知らない方がたくさんいらっしゃるという事で、それと来られた方にいろんな要望とか意見の収集がちょっとしきれてない部分があって、なかなか改善の集約ができてないというところがありまして、その辺りこれからほんとにどのようにみなさんの意見を反映させていけるのかなっていうところで、悩んでるところがありまして、この協議会でいろんな意見をいただいている中で、そういった意見収集、集約の方法がもしいい案がありましたら、いただきながら改善を進めていきたいと思ってるんですけど、いかがなものでしょうか。意見箱みたいなものだとみなさんなかなか書きづらいでしょうし。

(委員)どう思うかな？

(委員)わたし、7回か8回くらい来てるんですけどね、少ないお客さんですごく心配になります。ちょうどお昼の時間にね、何人か一緒にあそこ折角できたのに行きましょうって、誘ってくるんですけど、周りの席はみんな空いていたり、なんかすごく心配するです。マルシェの部分も、お客さんがすごく少ないのが心配です。

(事務局)その辺りね、いろんな原因があると思うんですけど。

(委員)初めは井みたいな物しかなかったけど、年配の人がおうどんがあったらええなあって言っておられたら、おうどんが出来ていたので、まあいいかなあとってたんですけど。

(事務局)それから、日替わりランチみたいなものがあった方が楽しみがあるという事で、ちょっとずつは変えてはいつてるんですけど、ちょっとこのぐらいのスピードでは、なかなか追いつかないとい

うか、もっと早急に対応していかないと実際お客さんの伸びもまだまだ少ないんで、その個人的な人の意見を集約するのがいいのか、なにかこう運営委員じゃないけども、意見を聞くようなそういう委員さんなり会を設けた方がいいのか、地元の方が意見を出しやすいような方法があれば、それも提案いただけたらと思うんですけど。

(委員)意見箱でもいいと思うけどねえ。龍鳳閣でもういいかって言うほど意見が来て、理事長の給料が高すぎるとか、いろんなものが出てきますから、その中からやっぱりいい物を採用していくって言う形に持っていかないと。

(事務局)ですね、ひとりひとりの意見を全部吸い取って持っていったらと、もっと真っ赤になっちゃって逆に、ですからその中でいい案を拾いながらやっていかんと。

(委員)その所でなになに会を作ってというよりも、そっちを中心にやっていったら。

(事務局)町の中でも、松崎松崎言いますけど、湯梨浜全体の中で考えていかないとならないんですけど、じゃあ、羽合の人がわざわざ昼の昼食に羽合の人がこのマルシェで買うかっていったら、近くにある訳で、なかなか買い物のために、食事をするためにここに来られるという事は難しいと思う。知らなかったというよりも、やはりここを守っていくのは松崎地域の方々が愛着を持ってやっていかないと前に進みにくいのかなあという気もしていますので、ピラをどうのこうのじゃなくて、言われるように一緒に食べに行こうやっていう方が、連れだって食べに行こうやっていう人が何人かおられて、ロコミでやっていくのが一番なのかなあという気もしてますんで。その中でメニューもね、増やせば増やす、商品の中にこういうのがあってっていうところはまちづくり会社の運営の中で考えていただければ良いと思ってますから。その辺の事を含めて一緒になって、やっていくしかないのかなと。まだ2か月ですので、これで、いい悪いの判断をしていくのは私は早いのかなあという気は持っておりますから。もう少し長い目で育ててやっていけたらなあと思ってますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

(会長)分かりました。

(委員)オーダーの時間が1時でしょ？終わりが、最後が。

(事務局)1時45分ですね。

(委員)45分？1時じゃないですか。

(事務局)1時45分がラストオーダーで2時までが営業時間ですね、食堂は。

(委員)1時って書いてあったから、お昼交代で食べられる方がおられるから、1時だからダメだわねって言われる方が結構いるから、もうちょっと時間が欲しいねっていう話をされるから、私もそこまでよく見てないから、1時ころまでっていう事だけ頭にあるって話をするんですけどね。

(事務局)その所は良い具合に情報が流れていない事があると思ひますので、メニュー表を含めて、はっきりと営業時間とメニューが分かるようなものを各近くの店舗に置かせていただいて、そういうのもPRしていきたいと思ひます。10時から2時が営業時間で、オーダーストップが1時45分ですので。

(委員)ふーん、45分までは気づかなかったねえ。1時頃までだと思ひてた。

(事務局)で、45分でもう受け付けませんじゃなくて、お客さんがおられたら2時でも受けますので、そこは臨機応変にしますので。

(委員)早いねーって、言われたから。買い物もちよくちよく行くけども、やっぱりパッと見てパッと帰られるから、そういう傾向があるじゃないかなあ。

(事務局)分かりました。分かりやすいように表示します。

(会長)ありがとうございました。その他何かありましたら、みなさんの方で。それでは次回、ひと区切りの会という形で、2年半ですね、展開していただきましたが、活動報告の総括をしまして、そのあと出来れば飲み会を開催したいなあと思ひておりますが、いかがでしょうか。区切りの会。

(事務局)ゆるりん館を使ってください。安く飲み物も出来ますので。持込みされても結構です。

(会長)そうしますとこの会、毎回月曜日に参加しやすいもんですから、議会が3月の7日からという事ですけど、割と議会中でもOKだという事がありましたので、3月の11日にしたいと思いますがよろしいでしょうか。時間は6時からどれみでもいいですか？

(事務局)そのまま、ゆるりん館でもいいですけどね。

(会長)ゆるりん館でやる？じゃあ、6時ゆるりん館で。みなさんのご都合よろしいでしょうか。3月11日月曜日、6時ということで会議をやって、その後という事で。では、3月11日で決定で内容確認をして。みなさんも2月の中旬までに一人1件のご意見をお願いします。事務局、何かありますでしょうか。

(事務局)はい、大丈夫です。では、2月の中旬までにみなさんご意見をよろしくをお願いします。

(会長)ちょうど1時間半になりましたので、最後に副会長にご挨拶をお願いしたいと思います。

4. 閉会

(副会長)寒い時にご協力いただきありがとうございます。長い間、協議会という立場でやっていただきまして、本当に労をねぎらいたいなあという会長の気持ちでございますので、11日は良い会になったらなあと思います。一応区切りという事でございますが、まだまだなんかありましたら集まっていたとことという事だけは頭に置いておいていただきたいという風に思いますので、よろしくお願いたします。今日はどうもありがとうございました。

次回開催：平成31年3月11日(月) 18:00～

場所：ゆるりん館